

プログラム

一般講演(講義棟109)【9:00~12:00】

1. 9:00~9:15 高江洲賢文 (沖縄県農業研究センター名護支所) 導入植物2種の区外逸出による地域の植生への侵入
 2. 9:15~9:30 *藏屋英介¹・塚原正俊²・中村大助²・豊里友彦³・小橋川 健³・金城道男⁴・仲地学⁴・外村浩幸⁴ (沖縄工業高等専門学校¹, (株)トロピカルテクノセンター², 大和コンクリート(株)³, NPO どうぶつたちの病院⁴) ヤンバルクイナのロードキル回避システムの開発
 3. 9:30~9:45 玉城泉也・藤田雄二・藤吉栄次・小林正裕(水研センター西海区水産研究所)・阿部真比古(水産大学校)・菊地則雄(千葉県立中央博物館海の博物館)・須藤裕介(沖縄県水産海洋研究センター) 沖縄県宜野湾市にて採集した紅藻アマノリ属の葉状体の形態的特徴とDNAによる種判別について
 4. 9:45~10:00 藤田喜久(琉大・大学教育センター/NPO 法人 海の自然史研究所)・岸本和雄(沖縄県水産海洋研究センター)・香村眞徳(沖縄県環境科学センター) 宮古島と波照間島の湧水に生育するチスジノリ属藻類
 5. 10:00~10:15 楠井善久(和歌山県) 沖縄からグアム島に侵出したツヤハナムグリ 2 種について
 6. 10:15~10:30 *新垣則雄(沖農研)・下地幸夫(沖大地研)・若村定男(農生研) リュウキュウツヤハナムグリ *Protaetia pryeri pryeri* (Janson)は樟脳に誘引される
- 10:30~10:45 <休憩>
7. 10:45~11:00 *宮国泰史(鹿児島大院・連農)・杉尾幸司(琉球大・教)・辻和希(琉球大・農) コウシュンシロアリ *Neotermes koshunensis* (Shiraki) における成虫型二次生殖虫を用いた生殖虫補完機構
 8. 11:00~11:15 *岩本健輔(琉球大院・理工)・張至維(台湾海洋生物博)・吉野哲夫・今井秀行(琉球大・理) アミアイゴ(*Siganus spinus*)の集団構造からみる北赤道海流と黒潮の働き

9. 11:15～11:30 河野裕美^{1,2}・水谷 晃²・菅原 光³・* 村越未来³ (東海大¹ 海洋研,² 沖縄地域研,³ 院・海洋) 保護飼育下におけるカツオドリ雛の成長と渡去過程
10. 11:30～11:45 *水谷 晃¹・河野裕美^{1,2} (東海大¹ 沖縄地域研究センター,² 海洋研究所) 八重山諸島における沿岸性アジサシ類の2009年繁殖状況 —水谷・河野(2009)により提唱されたモニタリング手法の実践—
11. 11:45～12:00 当山昌直(沖縄県文化振興会) 近世琉球史料にみる海馬について(予報)

ポスター講演<小学生>(講義棟ピロティ―)【12:00～12:30】

12:00～12:20 兼島大・当間貴大・阿部啓太・兼島唯・川井紫丸・豊島志帆・森山竜也・吉村太悟・阿嘉将史(座間味村立阿嘉小学校)、遠藤晃(南九州大学)

- ・ケラマジカの好き嫌い調べ I:何がきらいか?
- ・ケラマジカの好き嫌い調べ II:何できらいか?
- ・ケラマジカの好き嫌い調べ III:ほかにきらいなもの?

遠藤晃(南九州大学) 座間味村における離島を拠点とする環境教育の実施体制

休憩(昼食)【12:30～13:05】

沖縄生物学会総会(講義棟109)【13:05～14:05】

池原賞受賞者講演(講義棟109)【14:10～14:30】

佐々木健志(琉球大学資料館) 沖縄の絶滅に瀕した昆虫類の現状と同じく絶滅に瀕した蕨算について

一般講演(講義棟109)【14:30～15:30】

12. 14:30～14:45 *中本 敦¹・佐藤亜希子¹・金城和三²・伊澤雅子¹(¹琉球大・理・²冲国大・法) 沖縄島で見られるオリオオコウモリの個体数の増加について
13. 14:45～15:00 *國府方吾郎¹・中村剛²・Paul I. Forster³・平山裕美子¹・横田昌嗣⁴(¹科博・植物,²台湾中央研究院,³QLD Herbarium,⁴琉大・理・海洋自然) クスノキ科スナヅル属2種の隔離分布検証と分類学的再検討
14. 15:00～15:15 *三瀬武史・上田満・安元健(沖縄科学技術振興センター マリンバイオ事業推進室) 海藻カロテノイドであるフコキサンチンに着目したオキナワモズクの有効利用

15. 15:15～15:30 大城洋平・金城孝一・仲宗根一哉・城間博正(沖縄県衛生環境研究所) サンゴの環境中の HSP70mRNA 応答状況とその応答要因の検証

ポスター講演(講義棟ピロティー)【15:30～16:30】

1. 遠藤晃(南九州大学) 座間味村における離島を拠点とする環境教育の実施体制(※小学生のポスター講演時間帯に講演)
2. 島仲有沙・砂川由希(沖縄県立那覇高校3年 自然科学部生物班) 宮城島(うるま市)におけるオカガニの繁殖生態に関する研究
3. 西里公作・垣花武志(沖縄県立宮古高等学校 生物クラブ) 宮古島の湧水域環境保全を目指した研究～湧水域に生息する生物の保全を目指して～
4. 米須巧哉・宮城誠也・平良正人(沖縄県立辺土名高等学校 サイエンス部) ヤンバルクイナ・ノグチゲラ・アカヒゲの分布調査Ⅲ
5. 西平守孝・西原ちひろ((財)海洋博覧会記念公園管理財団総合研究センター) (財)海洋博覧会記念公園管理財団総合研究センターにおける公開講座などの紹介
6. 富永篤(琉球大・教育)・五箇公一・鈴木一隆(国立環境研)・田向健一(田園調布動物病院)・宇根有美(麻布大・獣 医・病理) 中琉球におけるカエルツボカビの分布とその感染力
7. 新垣裕治(名桜大・国際・観光産業)・嘉陽和那(名桜大・国際・観光産業) 沖縄島におけるマングローブの分布状況
8. 新垣裕治(名桜大・国際・観光産業)ハワイ大学構内(マノア本校、オアフ島)におけるジャワマングース(*Herpestes javanicus*)の行動観察
9. アブドゥラ ムハammad ファドリー(琉球大院・理工・海自)・井上 博(琉球大・理・海自)・岩本健輔(琉球大院・理工・海環)・今井秀行(琉球大・理・海自) 沖縄島から県内初記録されたネットアイセエビ(新称)と RAPD マーカーによる分子系統学的位置
10. *北野忠¹⁾・唐真盛人²⁾・濱田康正³⁾・水谷晃⁴⁾・崎原健⁴⁾・河野裕美⁴⁾ (¹⁾東海大・教養 ²⁾石垣中学校 ³⁾東海大院・人間環境 ⁴⁾東海大・沖縄地域研究センター) 八重山諸島における

止水性ミズスマシ類の生息状況

11. 渡邊謙太（沖縄工業高等専門学校） 辺野古・大浦湾に生育する海浜植物のスキャナを用いた画像データベース構築の試み
12. *鳥居高志・塩根嗣理・平中晴朗・西田弘之（いであ(株)）、鍵田和彦・岩田雄一郎（沖縄総合事務局 北部ダム事務所） ダム事業における「しばづけ」を用いた希少魚類タナゴモドキの保全
13. 塩根嗣理¹・*桜井 雄²・平中晴朗¹・鳥居高志¹・石水秀延¹・田端重夫¹・細谷誠一¹・野中圭介²（¹いであ(株)・²沖縄環境調査(株)） 国内移入植物ヒルギダマシのトカゲハゼ生息地への侵入とその影響
14. 河野裕美^{1,2}・水谷 晃²・小菅丈治³・*丹尾岳斗⁴（¹. 東海大・海洋研, ². 東海大・沖縄センター, ³. マングローブ協会, ⁴. 東海大院・海洋） 仲ノ神島海鳥集団繁殖地におけるオカヤドカリ類の初記録
15. *平中晴朗・田端重夫（いであ(株)）・志村耕司（(株)鴻洋）・堤敏郎（那覇港管理組合） 沖縄島南部でみられるカサノリの景勝地の現状と形成要因について